

ドローンによる斑点米カメムシ防除薬剤試験に取り組んでいます

実施日 8月5日（金）及び16日（火）

場所 大桑村振田の水田

内容

木曽管内ではNOSA I長野木曽支所が事務局をもつ「木曽郡農作物等病害虫防除組合」で、ドローンによる水稻のいもち病と斑点米カメムシの防除を実施しています。今年度は、これまで散布していた斑点米カメムシの殺虫剤が次年度から製造中止となるため、NOSA I長野木曽支所と木曽農業農村支援センター、JA木曽が連携して代替薬剤を選定するための試験に取り組んでいます。ドローンによる高濃度少量散布する3剤について、慣行の薬剤を対照に試験を実施しています。ドローンによる散布はJA全農長野にお願いしました。

木曽産の米は斑点米による格落ちが問題となっています。防除組合のドローンによる防除は、斑点米を軽減する有効な手段となっています。優れた薬剤を選定して、次年度以降も効果的な防除の継続が望まれます。

